

# 海外安全対策情報

【2023年7月～9月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様  
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ  
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

## 1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して  
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮  
等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の  
電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しな  
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自  
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など  
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

## 2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場な  
どでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意し  
ながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華やかな服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

## 3. 事件・事故報道

### (1) 凶悪・粗暴事件関連

#### ア 刃物使用隣人夫婦殺人事件（濰坊市）

7月5日、濰坊市諸城において、中古車販売を営む夫婦が隣に住む周氏（43歳  
男）に刺殺され、遺体を川に遺棄される事件が発生した。警察は情報提供者に5  
万元、逮捕者に10万元の懸賞金を掛けて捜査し、7月12日に検挙した。調査に  
よれば、被害者夫婦は周氏の隣家に引っ越して来ると、何も言わずに周氏の家の  
前に駐車し、周氏が何度注意しても聞き入れなかった。怒った周氏がタイヤをパ  
ンクさせると、警察に訴えられて2,000元の修理費を求められ、さらに周氏の子  
供が被害者夫婦に叩かれるなどしたことから犯行に及んだという。

## 海外安全対策情報

---

### イ 配達員同士のナイフ使用重傷傷害事件（青島市）

9月26日午前1時頃、青島市李滄区向陽路医療保険城の路上で男3人が口論となり、うち1人の男が他の2人をナイフで刺したことから駆けつけた警察官によって逮捕された。被害者らは病院に搬送され、命に別状はない。目撃者の証言によれば、3人は東北なまりで配達員の服装をしており、事件発生後2人は路上に横たわり血だらけであったが、刺した男は冷静に自ら警察に通報していたという。

### (2) 窃盗事件関連

#### ア 監視カメラアプリで泥棒を発見（青島市）

正陽路派出所は7月3日、管内在住の女性から「スマホの監視カメラアプリで自宅のペットを見ていると、ベランダから人が入ってきて室内を物色して逃げた。」との通報を受けた。警察は、監視カメラ画像から5日午後1時に女性の隣人である施某を割り出し検挙した。被害女性によれば、茅台酒や金のアクセサリ等5万元相当が盗まれており、検挙現場でほとんどが押収された。施某は、隣家の窓やカーテンが開いており、人がいないことがわかったので2度侵入して盗みを行ったことを供述している。

#### イ 宝石店で24万元相当の貴金属盗難被害（青島市）

7月4日、膠州市の宝石店において店のドアガラスが割られ、商品である金のブレスレットやネックレス等計24万元相当の貴金属が盗まれる被害が発生した。通報を受けた警察は、およそ10時間後に2人の男を某小区内で検挙し、被害品を売却して得たと思われる現金4万元と残りの貴金属を押収した。その後、警察が売却されたネックレス等を全て回収し、被害者に返還された。

#### ウ 城陽区で盗難被害が多発（青島市）

7月から8月にかけて、城陽区惜福鎮派出所の管内では多数の窃盗事件が発生した。窓ガラスを割って住宅に侵入する者や車上狙い、自動車盗など多種多様の犯罪が発生し、指輪やブレスレット等の貴金属のほか、ビールや果物ナイフまで被害に遭ったという。近日、株州路の日雇い労働者市場が閉鎖して、多くの出稼ぎ労働者が惜福鎮等の場所に集まってきたことにより、窃盗事件が増えたものと思われる。

#### エ 「墓泥棒」グループに3～15年の懲役判決（青島市）

近年、「墓泥棒」の小説や映画がブームとなり、副葬品や古代遺物の盗掘で一攫千金を狙う者がいる。平度法院は近日、墓泥棒グループ11人に古文化遺跡、古墓盗掘罪により3～15年の有期懲役及び罰金を言い渡した。同グループリーダーの劉某は、2011年に盗掘罪で5年6か月の懲役となっていたが、出獄して全国各地から10人集めて盗掘団を結成し、特殊シャベルや探測機等の専用道具も揃えて、2021年10月頃から平度市内の即墨故城遺跡や五陵阜墓群等の古文化遺跡を何度も盗掘していた。刑法第328条は、歴史、芸術、科学的価値のある古文化遺跡、古墓を盗掘した者は3年以上10年以下の有期懲役及び罰金を併科するとしている。

#### オ 自習室を狙った窃盗事件（青島市）

市北公安分局双山派出所は9月28日、各地の自習室で学生が机を離れた隙に置いてあったノートパソコン等を盗む手口で、窃盗を繰り返していた男を逮捕した。男は、今年初めに青島に来てから無職状態であり、自習室で長時間勉強する学生が

## 海外安全対策情報

---

学習用品を置いたまま外出することを知って犯行を思いついたという。盗んだ物の大部分は転売し、約 8,000 元を生活費として使っていた。

### (3) 詐欺事件関連

#### ア 高級車代金 85,000 元を支払ったが、相手が音信不通（青島市）

城陽区で会社を経営する袁氏は 7 月、高級車を購入しようとネットで中古車を募集したところ、ベントレーを売りたいと称する者が現れ、車の写真を見せてもらうなどの交渉後 85,000 元の代金を支払ったが、相手と連絡が取れなくなったことから警察に通報した。警察は、同車両の持ち主が無関係であることが判明したことから、代金支払先口座の名義人である陳氏を検挙したが、陳氏は 3,000 円で頼まれて他人に口座を貸していたと供述した。また、被害者がやりとりした相手の微信実名登録者も特定したが、同人もアカウントを他人に売り払っていたと供述しており、85,000 元は回収できたものの詳細は捜査中である。

#### イ “虚偽投資理財” 詐欺被害を阻止（青島市）

黄島公安分局反詐欺センターは 9 月 17 日 18 時頃、資金警報（詐欺被害警報）を受けて直ちに管内市民の周氏と連絡を取り、詐欺被害を阻止した。周氏によれば、某ネット通販サイトで繋がった友人に簡単に稼げると勧められ、アプリをダウンロードして 500 元を投資したところ、しばらくして口座残高が 1 万円を超えたという。しかし、同アプリで金を引き出すにはさらに 2 万元投資する必要があると言われ、用意して振り込もうとした時に警察から連絡があり、被害を逃れることができた。

### (4) 薬物関連

#### ア 亜酸化窒素を違法販売（煙台市）

龍口市公安局は近日、亜酸化窒素を違法販売していた被疑者 2 人を逮捕し、貯蔵庫 1 か所を摘発、現場で亜酸化窒素 21 缶を押収した。5 月初旬、市民から微信グループで亜酸化窒素の販売をほのめかす者がいるとの通報があり、市公安局が専従班を組織して捜査していた。2 人は、昨年 11 月から本年 4 月にかけて、他の土地で購入してきた亜酸化窒素を小分けにし、ネット販売する手口で 9 万余元を稼いでいた。現在、亜酸化窒素を吸引した 11 人を含めて捜査が続いている。

### (5) 交通・事故関連

#### ア 改造車の取締り（青島市）

青島交通警察は、市民からの通報を受けて暴走族を厳しく取締った。即墨大隊は 7 月 11 日、マフラーを改造した夏氏を取締り、200 元の罰金と原状回復命令を通知した。開発区大隊は 7 月 12 日、ナンバープレートの無い改造バイクを押収し、無免許の運転者を行政強制措置とした。平度大隊は 7 月 13 日、ナンバープレートの無いマフラーを改造した車両を検挙し、無免許の運転者を行政強制措置とした。

### (6) その他

#### ア 震度 5.5 級の地震発生（徳州市）

8 月 6 日午前 2 時 33 分、山東省徳州市平原県において、震度 5.5 級、震源の深さ 10 キロの地震が発生した。山東省应急管理庁によれば、同日午後 4 時現在で、24 人が軽傷を負い、213 か所の建物や壁等が損傷したが、ライフラインに問題は

発生していない。

## イ 個人情報を売買していた犯罪グループを摘発（青島市）

青島市公安局ネット警察支隊は近日、平度市公安局ネット警察大隊と専従班を結成して犯罪グループ25人を一斉摘発するとともに、同グループから5万人分の個人情報を押収した。警察は、多数のチャットアプリグループ内において、大量の携帯電話番号や認証コードが不定期的に送信されていることを発見したことから、個人情報の売買が行われていると分析し捜査していた。犯罪グループは、携帯電話ショップの販売員らと共謀し、高齢者や女性が新規契約する際、こっそりとショッピングアプリやSNSアプリに登録させて口座番号や認証コードを入手し、3～24円で売買することで利益を得ていたという。

## ウ ハッカーグループの摘発（煙台市）

煙台市公安局は近日、2021年から300件以上のハッキング行為を行い、関連被害が30億元を超えるハッカーグループを摘発した。2022年11月、煙台市の某ネット技術関連会社は、同社のウェブサイトがハッキングされ、会員17万人の取引データと引き換えに50万円を要求されたことから警察に通報した。同局は専従班を組織し、公安部や省のネット安全部門の指導の下捜査を行い、王某が率いるハッカーグループの摘発に成功した。

## 4. 治安対策等報道

### (1) 各種統計

#### ア ネット上のデマを取締り、1万アカウントを閉鎖（全国）

公安部は7月4日、ネット上のデマ取締り活動における典型事例を発表した。全国の公安ネット安全部門はこれまでに、42万余りのデマを削除して1,600件余りの事件を処理し、1万件余りのアカウントを閉鎖している。デマの発信は、治安管理处罰法違反だけでなく、虚偽情報伝播罪や騒動誘発罪、恐喝罪を構成する可能性がある。山東省の張某ら3人は3月以来、フォロワー100万人を超える“ネット大VIP”アカウントを運営して虚偽情報を流し、企業や個人を恐喝するなど公共の秩序を乱したとして、7件の罪で山東省聊城公安により刑事強制措置が執られている。

### (2) 各種対策

#### ア ドローン飛行管理暫定条例が来年1月1日施行（全国）

国務院及び中央軍事委員会は近日、「ドローン飛行管理暫定条例」が2024年1月1日に施行となる旨を発表した。同条例は、ドローンを設計から運行まで規制・管理することで、安全リスクの低下と関連産業の持続的発展、法的保障に寄与する。製品識別コードと所有者実名登録制度を創設し、使用者企業と操作者の資格要件を明確にする。飛行管制空域と飛行時の申請制度を確立、活動規範を明確化することで、監督管理と応急処置能力を高める。

「暫定条例の主な内容」

- 民用ドローン所有者は実名登録を行う。具体的方法は国務院民用航空主管部が関連部門と制定。
- 民用ドローンを使用して営利活動に従事する者、及び大・中・小型ドローンを使用して非営利活動に従事する者は、保険に加入する。

## 海外安全対策情報

- 重量、速度、制御性能に応じたリスクレベルにより、大・中・小・軽・微の5類型に分類。
- 有人航空機と離れて飛行させる。
- 小・軽・微型ドローンは、適切な飛行空域であれば飛行申請は不要。軽・微型ドローンは、適切な飛行空域であれば空中交通管理機構の許可や特殊通行任務の承認は不要。
- 実名登録せずに飛行させた場合、公安機関は200元以下の罰金を科すことができ、状況により2,000元以上2万元以下の罰金を科すことも可能。

### イ 高所投てき対策に上向き監視カメラ（済南市）

済南市の槐萌区道德街绿地新城小区では、高所投てき対策のため、上向きにAI監視カメラを設置して住民の頭上を守っている。同区居民委員会の孫文副主任らによれば、2022年11月頃からこれまでに10台余りが設置され、自動的に落下物を認識して放物線を記録し、物の形状や風向き、風速により落下地点を推定することができるので、何が、どこから、どこへ落ちたのか一目瞭然であるという。また、绿地新城社区の孟涛党委書記は、AI監視カメラがすでに14棟ある居住区の全てをカバーし、住民に対して無形の“規範”となっており、以前は外廊下に放置された植木鉢が落ちるような事件もあったが、現在は放置される物はほとんどないと説明している。

### ウ マフィア関連犯罪情報の通報を要請（青島市）

青島市政法委員会は7月13日、「青島市マフィア関連犯罪情報の公募に関する通告」を発表し、社会に向けて広範にマフィア関連犯罪情報の通報を求めるとともに、通報方法を公表した。同通告では、“水軍”（多数の力を利用してネット上で脅迫行為等を行うグループ）を作って脅迫や恐喝を行うなど11種類の通報すべきマフィア犯罪を示し、高利貸しなど9種類の撲滅重点を列挙した。通報者の情報は厳密に守られ、報復を行った者には厳罰が科せられるが、悪意を持って情報を捏造した場合は法的責任を追及される。

### エ 無人水難救助ロボットの導入（青島市）

崂山分局海岸警察支隊は7月21日午後3時頃、海上で助けを呼ぶ男性2名の声聞いたパトロール中の警察官から連絡を受け、新型の無人水難救助ロボットを活用して救助を行った。同警察によれば、同ロボットは本年5月に配備され、U字型でハンドルとリモコン両方で運用可能であり、自動帰還やバック機能を備えている。75キロ積載時の速度は秒速2.5m、航続距離2キロで、今回は崂山分局が同ロボットを活用して初の救助成功となった。

### オ 走行音85デシベルを超える車両の通行禁止（青島市）

青島市公安局、生態環境局、交通運輸局は8月3日、連名で通告を発表し、9月1日から市南区、市北区、李滄区、崂山区の都市道路において終日、走行音85デシベルを超える車両を通行禁止とした。同通告では他に、国の規定を超える車両改造や不適切なクラクション使用を禁止しており、故意に騒音を発生させた場合は、治安管理处罰法による処罰や、犯罪として刑事責任が問われる。